

# 地域を つなぐ人

【伊勢】伊勢市の奥野祐則さん(63)は現在、約10畝の圃場(ほじょう)で青ネギを栽培している。奥野さんは40歳で父の後を継ぎ、就農。青ネギは一年を通じて栽培できることから、収入が安定していることを魅力に感じ、翌年から栽培を始めた。栽培において、土づくりに力を入れていた奥野さん。「土づくりで重要なのは、堆肥と緑肥を適期に施すこと」と話す。同じ圃場で栽培を続

伊勢市

奥野 祐則さん(63)

## 青ネギ魅力伝えたい



青ネギを手に笑顔を見せる奥野さん

けていると、土が固くなることも連作障害が発生する。そこで、堆肥を入れて土を柔らかくすることで地中に

根がしっかりと張り、使った土づくりの流れとして、堆肥はJA伊勢管内の畜産農家のものを緑肥作物のソルゴーの

種をまく。草丈が伸びてくる夏ごろに土にすき込むことで土壌改善が期待でき、水はけのよい青ネギに適した土になる。今後は、部会を通じて他産地へ視察なども行い、さまざまな手法を積極的に取り入れていく。

奥野さんは「環境の変化や生産資材が高騰しているのが現状だが、消費者の方に納得して手に取ってもらえる青ネギを栽培していきたい。また、安定した収入が確保できる青ネギ栽培の魅力を伝え、若い世代が青ネギ栽培を始めてくれることで、産地の活性化につながるとうれしい」と話す。